



このコーナーは、上越市の犯罪の傾向や分析結果のほか、市民の皆さんに特に注意していただきたい内容等をお知らせします。

**2月まで振り込め詐欺被害の発生なし**

■ 2月までの特徴

概況	上越市の犯罪発生件数は <b>156件</b> 、前年比 <b>20件 (11.3%)減少</b> 。
増加罪種等	万引きが <b>23件</b> 、前年比 <b>7件増加</b> 。 昨年9月ころからじわじわと増加。
減少罪種等	侵入窃盗の発生が <b>10件</b> 、前年比 <b>17件</b> の大幅減少。 空き巣などの住宅侵入窃盗は <b>6件</b> 、残念ながら <b>全て無施錠</b> 。 2月末で <b>上越市の住宅侵入窃盗の施錠率は、0%</b> 。
増加傾向地域	<b>新道区</b> で <b>21件</b> 、前年比 <b>10件増加</b> 、要因は万引きや車上ねらい等窃盗犯の増加。
減少傾向地域	<b>大潟区</b> で <b>6件</b> 、前年比 <b>7件減少</b> 、要因は土底浜駅周辺における器物損壊事案の抑止。

■ 振り込め詐欺被害の状況

上越市	2月まで振り込め詐欺被害の <b>発生なし</b> 、前年比 <b>6件減少</b> 。
県内	2月までに <b>13件</b> 、前年比 <b>14件減少</b> (オレオレ1件、架空請求11件、融資保証金1件)
主な手口	49歳男性の携帯電話に「有料サイトの未払いがある」との電話があり、「保証協会に振り込んだお金は後で戻ってくる」と言われ、3回にわたり、銀行のATMから合計170万円余りを騙し取られた。

■ 施錠の励行

本年、上越市の住宅侵入窃盗における施錠率は0%、市民一人ひとりが防犯に対する意識を高め、家族全員でしっかりと施錠の励行について話し合しましょう。

■ 万引き防止

万引きは、ショッピングセンターやスーパー、ホームセンター、コンビニなどで発生しており、商業地域ばかりで発生しているわけではありません。

昨年警視庁が実施した万引きに関する調査で、心理的な要因は少年が「**ゲーム感覚**」を挙げる割合が高かったのに対し、65歳以上の高齢者では4人に1人が「**孤独**」と回答しているとのことでした。

また、万引きを断念する理由としては、「**店員による声かけ**」が62%を占めるなど防犯対策の方向性が示唆されているものと思います。

万引き防止対策は、警察、行政、小売店舗、家庭、学校、地域住民、防犯ボランティア、関係機関団体等の連携に基づく総合的な取り組みが必要とされます。

**「万引きは犯罪である。」**という規範意識の醸成と、**「万引きをしない、させない、見逃さない。」**社会環境づくりを推進しましょう。